

幼児教育から……

小野わかば幼稚園と 中央さくら保育園の 合同保育

第一回交流会

「ながよく遊ぼうね」

5月27日、同一敷地内にある小野わかば幼稚園と中央さくら保育園の第一回交流会を幼稚園の遊戯室で開催しました。



わかば幼稚園とさくら保育園では、互いの園庭を自由に行き来し、砂場や遊具を共有しながら園児間の交流を行っており、園児同士が園庭で仲良く遊べるよう交流会をおして事前指導を行いました。

さくら保育園は1歳からの園児が参加しました。職員のご紹介の後、リズム遊び「パンダうさぎコアラ」を全員で踊りました。わかば幼稚園長兼さくら保育園長から「お友だちと仲良く遊びましょう」「先生に必ず行き先を言いましょ」「事故に気を付けましょ」などのお話があり、元気に返事しお約束をしました。

最後に職員による「赤ずきんちゃん」の劇を披露し、園児たちは楽しいひと時を満喫しました。
この交流会は、『幼保連携パイオニア事業』の一環として、合同保育の研究を試験的に行ってまいります。

幼稚園・保育所の一元化 総合施設に向けて

近年急激な少子化により、「幼児教育」「幼児保育」について社会的にクローズアップされております。

その背景には、急速な少子化の進行にあります。進行を抑えるためには、子どもを産みやすい・子どもを育てやすい環境づくりなどが重要課題であり、国の施策は、子育て支援、次世代育成などの観点から、幼稚園と保育所の機能を併



せ持った『総合施設』を推進することになりました。町教育委員会では、就学前の幼児教育の重要性を考え、年長児については幼稚園児も保育所園児も等しく教育が充実されるよう『幼保一元化』に取り組んでいます。

携バイオニア事業』の指定を受け、同一敷地内にある小野わかば幼稚園と中央さくら保育園で、それぞれの施設を有効活用しながら、幼稚園と保育所の総合化に向けた調査・研究を行い、その成果を検証しながら、将来的に『総合施設』の可能性について研究していきます。

花も野菜も大きくなあれ

羽出庭つくし児童園

「さつまいもの植え方知ってるよ。横にねがせるようにするんだよね。」「早くあさがおの芽が出るといいなあ。」子どもたちは、自然と仲よし。大好きな砂遊びのつもりで、種や苗を植えました。

幼児教育では、花や野菜の栽培を通して、植物の世話をすることの大切さを知ったり、生長の不思議さに関心を持ったりすることができるよう、栽培活動を大切にしています。

登園すると芽が出たかを確認、友達同士声をかけあって水やりをしています。花が咲くのを楽しみに、折り紙で花を折ったり絵を描いたり、遊びにも大きな影響が見られます。



さつまいもの苗 やさしく土の布団をかけてあげます

夏には、あさがおがきれいな花を咲かせ、秋にはおいしい野菜が収穫できることでしょう。その時の子どもたちの笑顔が楽しみです。

どんどん生長する植物に負けず、子どもたちの心も体も大きく成長していきます。